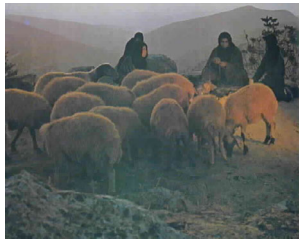


2001年 四季折々 Mutsu

15. 2001年 1月 from M. Nakanishi 2000.12.25.

Merry Christmas & A Happy New Year !!

平和で穏やかな世紀になりますように



明けましておめでとうございます

皆様のご健康とご多幸をお祈り致します
本年もよろしくお願ひ申し上げます

2001年 元旦

世界自然遺産 白神山地
和鉄の故郷：青森秋田県境
『ものけぢ屋』の舞台 白神山地
2000.9.18. 白神にて
「白白鉄器」の土鍋
中西 睦夫
tel & fax : 0471-32-6652
e-mail : zp4m-nkns@asahi-net.or.jp
Home Page : <http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/index.htm>

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひします

新世紀のはじまりです 時代の大きな転換点
みんなの「もっと・・・」の声に答えたい

小さくても 何か 役割を演じよう
そんな気持ちでいます

2001. 1. 1. 神戸にて Mutsu

1. 「クリスマス イブ」 柏 聖アンデレ教会 にて



「メリー クリスマス!! クリスマス おめでとう !!」

東の空の星に導かれて 博士たちがベツレヘムへやってきて
穏やかに眠る「あかご」を祝福したのが2000年前。
日暮に東の空を見上げると明るい星が3つ並んで輝いている。
右上にあるのが土星、左下は木星 その隣が、おうし座のアル
デバラン。

3つの星がこの並びになるのは60年に1度という。

『星の王子さま』の挿絵にある星の並びが、ちょうど同じで、
60年前、サンテグジュペリもこの星空を眺めていたかもしれ
ない。

サンテグジュペリ 「星の王子さま」より

今 新しい世紀のはじまろうとしている

地球に集う者みんなが、自然との共生・民族間の調和など今ほど新しい行動を求められている重要な時はありません。

柏聖アンデレ教会のキャンドル サービスによるクリスマスイブ 礼拝に参加。クリスマスのメッセージに耳をかたむけ、その後キャロリングへ。

ろうそく片手に 夜空のもと 灯のついた家の下でクリスマスキャロルを歌うと気持ちがシャンとします。

また 1年のはじまりです。

2000. 12. 25. 柏にて Mutsu

● 2000. 11. 入院から師走まで

11. 7. 中国出張から帰って 少しおかしかった耳が治らず、病院へ行ったら突発性難聴で即刻入院。1週間点滴の毎日。テレビ見るたびに音をだんだん小さくして聞こえなくなる位置確認して・・・。1週間で無事退院。

初めての経験で色々な事に眼を向けることが出来ました。

ご心配をおかけしましたが、すっかり全快。新たな気持ちで仕事に取り組んでいます。

入院したのは柏の「田中農協病院」。「どんな 病院？ ほんとうに大丈夫？」など色んなアドバイスもらいましたが、直ってしまうと本当に良かったです。

毎日点滴のタワー引張って歩くのには閉口しましたが、良い病院でした。

軽い気持ちで病院へ行ったら、「即入院 早い方がいい」と言われ、いつもの出張道具と寝巻きを入れて、遊び道具のパソコン入れて・・・入院。スリッパ忘れ、お茶のコップなし 醤油なし。

家内が来て「自分の道具だけ持ってきて・・・」と笑いましたが、助かりました。また 会社の仲間が小さな容器に幾つも副食持って来てくれてこれも本当に大助かりでした。

なんせ 点滴のタワー引張っているのので体は動くのですが、病院の外へもでられず、いい経験です。

病院は僕のイメージとは違って good。

或る先輩にも言われましたが、「病院と医者は大きくても名前があってもダメ。本人に合っている病院と医者にあたるのが一番」と。本当に難しいようです。

毎日病状の変化を看護婦さんに伝えて 医者から加療の状況聞いて・・・

一人の看護婦さんにいった状況や医者に聞かされる加療の状況が実に良く次の看護婦さんに伝わっていて驚き。もっとも 時々ニュアンスのちがいはありましたが・・・また、本当に良く看護婦さんが声をかけてくれて。

若い看護婦さんが 本当に一生懸命で若い人見直しました。 医療ミスが叫ばれる昨今 その危なっかしさもちょっと感じましたが・・・

病院の夜中は本当に人生の縮図。4人部屋に入たのですが やるになると安静ものともせず 夜中に飛出し朝帰りの若者。

夜になるとしくしく泣き出す独居老人。

ぼそぼそと生い立ちをきかせてもらったり・・・勉強になりました。

もっとも 私も寝巻きも着ず 夜おそくまでパソコンと遊んでいるおかしなやつとおもわれていたが・・・

「入院したら 耳より肝臓ひっかかり、中々出してもらえないのでは・・・」と心配しましたが 11月

14日 点滴加療完了し、退院。21日検査も good でほっとしています。

しかし γ GPT ほか 又 上昇。今年の忘年会は景気も悪いし出来るだけ自重・・・??????

本当にご心配かけました。

● 映画「スペース カーボーイ」

11.19. 大学時代の友達から お勧め映画「スペース カーボーイ」を家内と二人で見ました。

若いときに情熱燃やしつづけたことが挫折。

それを30年を経て 実現へ向うクルー。

「中年にはたまらない映画」とのメール。

Sさん Aさん

スペース カーボーイ 先週末 みましたよ。ほんとうに 面白かったです。

「物作り」のエネルギー貰って帰りました。

基本技術では成功ゼロにける技能の技「物作り」の作りこみ技術の粋みたいなものです。

年取ると「ついつい言うてしまうか 黙りこくるか」一番難しいとこです。

1. 月を見る目が変わった事

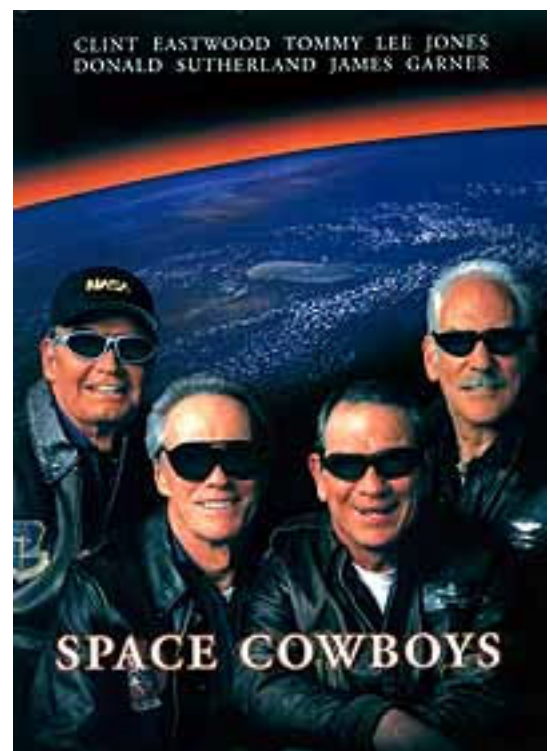
家内が行ってましたが・・・

月を見ると ついつい あの人が月にいっていると見てしまうと。

2. SF 好きではないのですが、宇宙の映像 宇宙衛星などまさに現実空間・CGで現わされる宇宙疑似体験

丁度 エンデバーが17トンの太陽電池を打ち上げ 宇宙飛行士が船外でコネクトすることが、報じられています。全く同じような作業だろうと想像しています。

3. アリゾナ砂漠・NASAの映像懐かしく見ました



まあ、見方は色々ありますが、元気貰ってかえりました。 中年の元気が出る映画でした。

この頃 こんな感じばかりで ヤッパリ 歳ですかねえ・・・

先週神戸の家の団地の小学校では 開校時に「20年後の夢」をこめて埋めたタイム カプセルを20年ぶりに掘り出す行事がありました。

当時小学生だった娘や息子 そして各地から 沢山の当時の小学生があつまりました。

息子達 あまり興味がないのかと思っていましたが、飛んで行って 当時埋めた習字や絵を持って帰って また 多くの昔の仲間と会えて 非常にハイになっていました。

映画もそうでしたが、幾つになっても 夢 また 仲間会うのは 歳を越えてうれしい物とつくづく感じました

2000.12.5. Mutsu

● 神戸我が街 若草小学校で

20年を経たタイムカプセルを当時の小学生達が開く



【2000. 11. 19. 産経新聞 神戸版 朝刊 より】

昭和55年 今まで通っていた妙法寺小学校から分かれて若草小学校が若草町の団地の中央に開校。

昭和52年に尼崎市の立花から神戸須磨のこの地に移ってまもなくでした。

そして、20年を経て、平成12年11月18日開校時 20年後の夢を託してみんなで埋めた「タイムカプセル」が掘り出された。

当時 団地は沢山の子供達であふれ、運動会 団地内マラソン等々たえず街なかに子供達の歓声が上がっていたものでした。

沢山いた子供達もみんな成人してしまい、今は静かな団地になってしまいましたが、今日は東京や各地から「タイムカプセル」を埋めた当時の小学生が沢山団地に帰って来て活気があふれています。

当時3年生だった米子にいる娘も子供を連れて帰って来ました。また、当時1年生の息子も今はしっかりしたエンジニアになりました。

息子はこんな事に関心ないのかと思っておりましたが時間が来ると飛んで学校に行きました。

まもなく、娘や息子が当時タイムカプセルに入れたお習字や絵を抱えて眼を輝かせて帰ってきました。

久しぶりに多くの仲間にてあえた喜びが満ちている風でした。

また、翌朝の色々な新聞には、各地からかけつけた当時の近所の子供達の写真やインタビューの記事が載り懐かしく当時をおもい起こしました。息子のインタビュー記事も産経新聞に載りました。



長女 3年生の時の作品 長男 1年生の時の作品

長女の娘

20年を経たタイムカプセルの中から

上段と一緒に載せたかちゃんの写真は娘は子供。生後7ヶ月。つたい歩きを始めたところですが、娘や息子と同じようにすぐ大きくなることでしょう。「ヤッパリ 若くても 年老いても 故郷 仲間に出会う喜びは同じだなあ」とつくづく感じると共に、「二十年なんて ほんととあっという間で在った」と感じた1日でした。

2000. 11. 19. 神戸にて Mutsu

● 久しぶりの筑波山

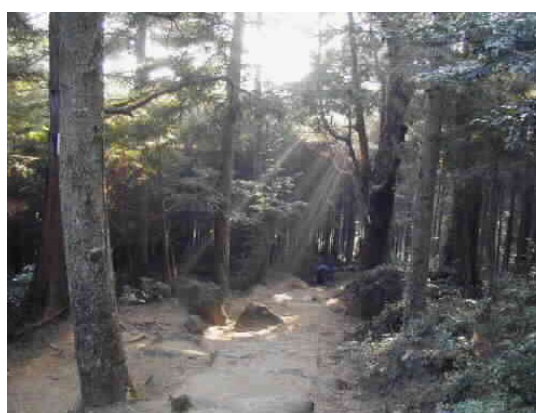
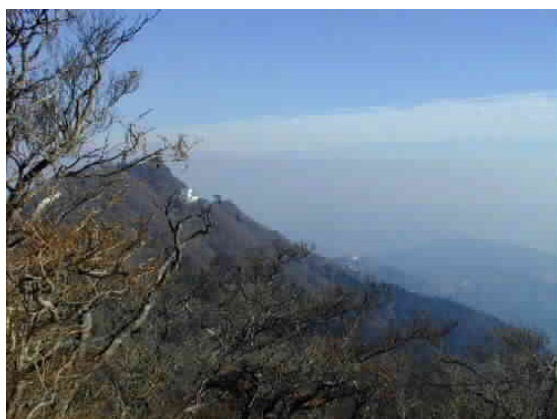
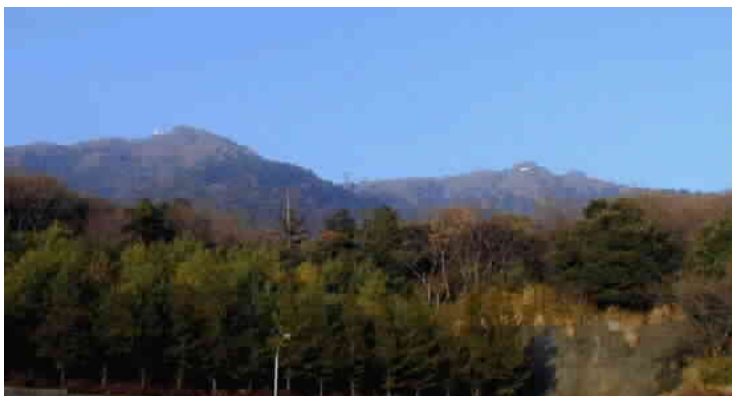
12. 23. 今日は 久しぶりに筑波山に登って、野田「汐の湯」に入って帰りました。

山へ行くのは退院後3ヶ月ぶりでしたが、山へ行くと気分がしゃっきりします。

もっともタフな中年のおばさんに登りで追い抜かれましたが・・・。

ブナなどの原生林の中、樹木の匂いが非常にこちよかったです

滋賀県比良の山の上から見る「琵琶湖」のように「霞ヶ浦」から太平洋へ注ぐ利根川を一度見たいのですが、青空が広がっているのに今回もダメでした。



● HOME PAGE 整理の事

病院に入ったのを機会に 丁度 HOME PAGE 限度の 50MB に近づいていた事もあり、整理しました。

取りとめもない事毎月更新していましたが、整理すると結構面白い物になりました。

「たたら」については まだ ほんとうにチョットしか WALK できていませんが、青森・秋田・岩手の東北へ出かけ、また 江口さんの紹介で民博の色々な人に出会い、縄文のストーンサークルもつなぐと面白い物になりました。

前任地の美祢の風景の数々も今はいい思い出になっています。

ホームページ スタートの 砂鉄の浜 千葉県九十九里浜 飯岡灯台横のレストラン どうなっているか訪ねたいものです。当時確か クリスマス イブにここで二人で星空をみるのがはやっていましたが・・・。関東にいる間に是非一度たずねたい。

古代丹後の「高チタン砂鉄によるたたら」現在の溶接材料に通じる技。びっくりしています。

まだまた 訪ねたいところばかり きままにホームページつくりますので、今後とも お付き合いください。

2000. 12. までのページは すべて CD1 枚に入れて HOME PAGE からは 4 月には 削除したいと思います。もし、必要な時には ご連絡ください。

2000. 12. 25 Mutsuo

16. 2001年 2月 寒の時期 from M. Nakanishi 2001.1.27.



週末になるとこのところ毎週雪になり、夜は道がツルツルです。今年は単身赴任の身にこたえる厳しい寒さ。つつい布団から抜け出すのに遅れ、出勤遅刻の失敗もやらかしましたがまあ、何とかやっています。

1.27. 今日は夜中から1日中雪。今年一番良く降っています。朝早く出かけて結氷した袋田の滝見に行こうと考えていましたが、中止。布団の中から降りしきる雪を眺めています。山口にいる時には珍しくもなかったのですが、向いの公園の樹木に雪が積もって実にきれいな雪化粧を見せています。久しぶりの光景でした。



柏市花野井 社宅横の公園にて 1.27. 朝

● 森本哲郎氏「木の文明」

1.27. 楽しみにしていた森本哲郎氏のお話を山内丸山縄文塾で拝聴する機会を得ました。世界に類を見ない「木の文明」として「世界4大文明」にまさるとも劣らない「山内丸山遺跡」の話。また 大河に起こった4大文明とは別に中小河川に起こったであろう豊かで高度な文明の示唆。「ハシ」が持つ意味「端」「橋」「柱」みな同じルーツをもつ。その意味と山内丸山の六本柱 日本の柱にまつわる文明論。

〔挑戦〕と〔レスポンス〕「挑戦のないところ知恵なく 知恵が技術を作り文明を起こす」という文明論。現在が生きるワクワクする話ばかりでした。まだ整理できていませんので 聞いた話からまた別にまとめて少しづつ自分なりに考えたいと思っています。

2001.1.27. 柏にて Mutsu

● マフラーのこんな巻き方 知っていますか？



先日の夜 上野から柏への常磐線に乗っていると向かいに座ったかわいいお嬢さんが、かばんからマフラーを取りだし、丁寧に二つに折って首に巻きその二つに折とったところから端を出して巻きつけた。(あとで知ったのですが、「中出し」という巻き方) キュッと絞って 実に可愛く首に巻かれている。「ホッー こんな巻き方あるんだなあ」と見取れていた。

電車を下りて私もマフラーを取り出し同じやり方で首に巻いてみた。

非常に暖かくて具合が良い。

考えて見ると マフラーの巻き方などついぞ習った事なし。

【「中出し」の巻き方】インターネットから

「首にぐるぐる巻きつけ端をたらすか」「十文字に結ぶか」「しゃれっ気でネクタイ結ぶ要領で結ぶか」であった。

首に巻付けた端が体の前後ではためいている栗原小巻・西田佐知子のマフラー姿に昔心ときめかした時もありましたが・・・。

上記のような二つに折って巻いて折った部分に両端を通して絞るなどの巻き方一度もしたことなし。そんな眼でまわりを見渡すとマフラーの巻き方など線さ万別。

ソフトバイクを今も愛用しているが、バイクで走っていると巻きつけたマフラーが外れてきて、途中で巻きなおしたり、いつも苦勞していたのがうそのよう。全く崩れず、あったかい。寒いこの時期バイクに乗ってもルンルンで 帰宅した次第。

何で今まで気がつかなかったのか……常磐線の向いに座って マフラーを巻いてくれたお嬢さん様様である。このこと感激して同僚に話すと「そんな巻き方知っている」と……うそだろう。

インターネットで「マフラーの巻き方」で検索すると最もポピュラーな巻き方として写真に示したごとくこの巻き方が紹介されていた。ガックリである。

生まれて60年に近く 全く知らなかった。「やっぱり 物はきっちり教わる事心がけ様」と思った次第。最近は通勤・外へ出かける時 もっぱら この「中出し」の方法を愛用している。

皆さんはいかがでしょうか……

寒い時期が続いています。風邪ひかぬよう頑張りましょう。

● 「ISO の 功罪」

2001. 1. 19. 朝日新聞夕刊 経済面 「経済気象台」より

1月19日(金) 朝日新聞夕刊 全国版 経済面に「ISO9000シリーズ」の認証制度と今後の製造業「物作り」の考え方についてのごく一般的な方向付け意見記事が掲載されました。

極一般的な考え方ではありますが、常々お話し、私の考えている事に近い記事でした。

「物作り」の荒廃が言われ、「IT 技術の取込み」が課題の昨今何かの参考になればと思い掲載します。



● 「和鉄の道 Iron Road」

1. 古代製鉄発祥伝承の地播磨国 千種・岩鍋 country walk

「たたら」「砂鉄」にこだわって country walk はじめてもう数年。

「たたら」製鉄発祥の伝説を持つ「千種」に通い出し やっぱり 十数年が経つ。

千種に通っているうちに 「金屋子神の伝説」や「鬼伝説」「たたら製鉄」の民の関係を知り、随分出かけた所も広がりました

色々出かけたところを整理して、やっぱり「千種鉄」が抜けていると様にならないと感じ、このお正月の休み 古いアルバムなど引っ張り出して 播磨国 千種・岩鍋 の整理をはじめました。

色々ファイルが集まり整理するとやって見たい事 行きたいところが更に広がってきています。

関東からの東北通いも3年目 東北の山も

取りとめもない話ばかりですが、今年も元気な印として発信させていただきます。

東京成城の一家殺人 正月日の出暴走 今年の成人式の荒れようや そして 米子の新生児誘拐 もうなんでも有りの感じ。自分の思うままにまわりを全く見ない風潮。日本全体が荒れているように感じます。特に若い人が・・・・・・。なんとか 歯止めをかけねば・・・・と思うのですが・・・・・・。最近 風土・文化の大切さ もっと広げれば 宗教的な感覚の大事さを感じています。

今日は 米子の新生児 見つかったようだとの第一報がニュースで流れ、ほっとしています。

2001.1.14. 神戸にて Mutsuo

2. 1.21. 「千種鉄」ビデオライブラリーと 講演 「兵庫の鉄」

日曜日 神戸に帰ったついでに、気になって いた歴史博物館のホーム ライブラリーの「千種鉄」のフィルムを姫路市兵庫県歴史民俗博物館へでかけた。

前に一度見た事があるのですが、もう一度「千種 たたら」の歴史について頭の整理にでかけました。思いもかけず、博物館では兵博ゼミ 村上泰樹氏「兵庫の鉄」のゼミが開かれており、飛び込みで参加。丁度古代鉄と渡来人の関係や「日本での鉄の生産がいつはじまったのか？」など 自分のイメージ高めようと思っている時でしたので、本当に良い機会となりました。

また 現実に今 発掘がはじまっている山崎町での「古代たたら遺跡」の紹介是非たずねようと思っています。

ライブラリー「千種 たたら」のフィルムから千種「天児屋鉄山」の概観図や千種歴史博物館の絵図の写真が「金屋子神」を描いた物である事そして岩野辺の古いたたら遺跡の写真等を見ることができました。また 千種のたたらに関係した苗字も伝説の世界での兵庫千種と実際に弥生・古墳時代 すでに兵庫の地が倭とほぼ同じ先進の地であったという川村氏の遺跡出土品からの考察おもしろかったです。寒い冬 家にじっとしていようかとも思いましたが、やっぱり 出かけるとそれだけの価値有り。資料は少し遅れますが、纏め予定

来週の週末は東京恵比須で山内丸山発信の会 縄文塾森本哲郎氏の講演聞く予定。

2001.1.21. 神戸にて Mutsu

● HOME PAGE の 内容を整理しました 【2】

昨年 11月 病院に入ったのをちょうど良い機会に HOMEPAGE 限度の 50MB に近づいていた事もあり、整理しました。

取りとめもない事毎月更新していましたが、整理すると結構面白い物になりました。

「たたら」については まだ ほんとうにチョットしか WALK できていませんが、青森・秋田・岩手の東北へ出かけ、また 江口さんの紹介で民博の色々な人に出会へ、縄文のストーンサークルもつなぐと面白い物になりました。

前任地の美祢の風景の数々も今はいい思い出になっています。

ホームページ スタートの 砂鉄の浜 千葉県九十九里浜 飯岡灯台横のレストランどうなっているか訪ねたいと思っています。

当時確かクリスマス イブにここで二人で星空をみるのがはやっていますが・・・・。

アリゾナ「セドナ」のあの林立するベンガラ色の山々やフェニックス そして、インテルの仲間達マーレシアペナンの仲間達 本当にこの10年 充実した10年でした。

● 姫路兵庫県歴史民俗博物館での村上泰樹氏「兵庫の鉄」

古代丹後の「高チタン砂鉄によるたたら」製鉄は現在の溶接材料に通じる技。

先日 姫路兵庫県歴史民俗博物館での村上泰樹氏「兵庫の鉄」講演の中で紀元前の弥生遺跡から発見される中国大陸伝来の鑄物製鉄斧では 表面をネバクするため脱炭の熱処理が施されている事知りびっくりしました。(例えば 福岡県比恵遺跡鉄斧など)

また、低温加熱して鍛錬することで不純物や炭素を飛ばし、強靱化する技術(錬鉄)も既に紀元前にあったという。いずれも現在に通じる鉄の技術



また 山歩きも今ブーム。おかげで交通の便も随分良くなって 週末利用で今年はどれだけ行けるか.....。

まだまだ訪ねたいところばかり きままに風来坊ホ。今後ともお付き合いください。

2000. 12. までのページは すべて CD1 枚に入れて HOME PAGE から 4 月には 削除したいと思っています。もし、必要な時にはご連絡ください。

2001. 1. 28. Mutsu

17. 2001 年 4 月 from M. Nakanishi 2001. 4. 1.

「春の花便り 関東」



【栃木市 太平山 謙信平より 古河・佐野方面を望む 2001. 3. 24.】

「春の花便り 関東」



2. 25. 南房総 千倉のお花畑

3. 24. 栃木市太平山麓大中寺の桜

3. 24. 太平山下ぶどう園の野草

2000 年度がおわり、2001 年度がはじまりました。先行きが全く不透明な中、新しい年度が始まりました。転職のスタートを切り、新しい出発をした人。長年の仕事に終止符を打ち、一度充電する人。転勤で新しい任地に張りきって出向いた人。色々の人生模様の見える時です。また、幾人かの若い人が新しい挑戦を始める為 東京・大阪や九州へ。その若さと逞しいエネルギーに時代の流れを感じています。

「もう我々には出番がないのか？」

仲間が次々と仕事に終止符を打つのを聞くと自分に重ね寂しい限りです。

気になっていた 0 君も充電期間に終止符を打ち、新天地へ

柏で世話になった教会の先生も浜松へ移動。中国で世話になった Y 氏も仕事替わるとか

米子にいた娘家族も転勤で大阪に帰ってきました。

「自分で切り開こうとほかから指示され様と自分が選択した道 ほかに道なし。

新しい出発を突き進め。ガンバレと声かけるのみ」

また、このメール書いている時に 呉市を中心に四国・中国地方で大きな地震。いかがでしょうか？

本当に寒い日が続き、連日の雪景色。あれよあれよといっている間に春到来。

最近ほポカポカ陽気で 桜の花もさきだしたとか

3 月の HP 更新をしたかったのですが、何となく忙しく更新できず、四月になってしまいました。

毎度で替わり映えしませんが、ちょっとづつ 思いつくままやっています。

暇な時でも一度見てください。

「便りががないのが元気な印」など言わずに お便りください

2001. 3. 26. 柏にて Mutsuo

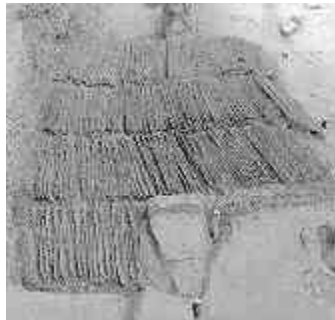
● 古代日本の「Iron road 鉄の道」で繰り上げられた壮絶なドラマ 謎の 出雲 加茂岩倉・神庭荒神谷遺跡 Country Walk

2 月 12 日 米子から念願の出雲「神庭荒神谷遺跡」と「加茂岩倉遺跡」に行って来ました。

日本誕生前夜の 3, 4 世紀頃 出雲に在った青銅祭祀器を中心とした出雲の文化 それが忽然と消えた。約 2000 年の年を経て、まるで敵から隠すかのように大量の青銅祭祀器(銅剣・銅矛・銅鐸)が整然と埋められているのが、神庭荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡でみつかった。

日本誕生をもたらした「Iron road 鉄の道」で起こった謎の出来事。出雲で何がおこったのか？

圧倒的な「鉄のルート支配」で統一に突っ走る大和連合。それに従わねばならなくなった出雲抵抗のあかしがこの「神庭荒神谷遺跡」と「加茂岩倉遺跡」でなかったか
古代日本の「iron road 鉄の道」で繰り広げられた壮絶なドラマ。



それを今に伝えるのが 出雲加茂岩倉・荒神谷遺跡。日本誕生前夜 大陸・朝鮮半島から続く「iron Road」。静かな出雲の山の中で、色々思いをめぐらすと共に文化をも抹殺していったそのすごさを感じました。

『古代日本の「iron road 鉄の道」で繰り広げられた壮絶なドラマ 出雲「神庭荒神谷・加茂岩倉遺跡」Country Walk 』としてまとめました。

● うまいもの 二題 袋田の滝 & 野田

1. 袋田の滝 「切り蕎麦に良く合う刺身こんにゃく」 2001. 2. 2.

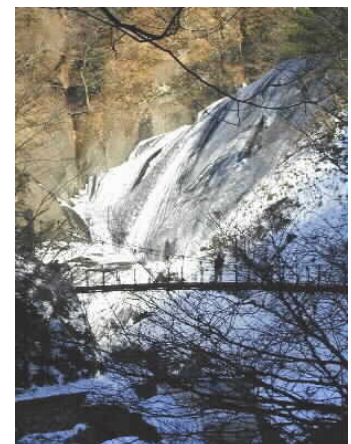
1月の末から二月初めは関東も雪が積もったりで大変でしたが、三月の声とともに暖くなりました。関東で雪が積もったのを見て週末 今年も茨城県太子袋田の滝を見に行ってきた。

氷結を期待していたのですが、残念ながら滝へ出るトンネルの中からドドッと水の音。残念ながら完全氷結とはいかず。 来年は奥日光でも収穫は 茶店で食べた「そばとこんにゃくの刺身」。

切りそばをたべながらこんにゃくの刺身をショウガ醤油であじわったのですが、そばとマッチしておいしい事。

こんにゃくの刺身がそばにこんなにあうとは・・・

また 一つ覚えました。



2. 柏 野趣にとんだ「野鳥の囲炉裏焼き」 2001. 2. 26



柏は利根川に近く、あちこちに森も多いし、昔は狩場だったようです。

実は数日前 柏の食堂で「めし」を食べていたら、隣で中年のおっちゃんが「柏の北西 野田との境で野鳥を追っかけていて雉を見た。」と。

少し前に「野田の森の中で 野鳥を食べさせてくれる店在り。一度行くといい」と教えてもらっていたので 同僚に案内してもらった。もっとも「「すずめ」食べにいこ・・・」と言ったものだから若い人に毛嫌いされたのですが・・・

夜の暗闇につつまれた森の木立の中の百姓家でいろりを囲み、野鳥や海の幸を焼いて、酒を飲みました。

日頃 料理屋で食べるのとはちよつと違った野趣にとんだ味わい。

柏は新興の街で「うまいもの」なしと置いていましたが、こんな楽しみも在りました。

● 早春 花の南房総「千倉のお花畑」 & 幕張界限 2001. 2. 24, 25

二月の末に家内が柏に来て 早春 花の南房総「千倉のお花畑」へ約10年ぶりに出かけました。

咲き誇る花の色・香りを満喫。「やっぱり生活の中に花がなければ・・・」と久しぶりに「ヒーリング」1/f ゆらぎの世界 ゆったりと心地よく、活力を貰った気分でした。

Home Page にちよつと時期がおそくなりましたが、「早春の南房総の花街道 Country Walk」をまとめました。また ちよつぱり洒落た新しい街になってきた「浜幕張界限」にも二人で出かけ、ちよつと若返った気分でした。

家内は「いかなご」解禁の声聞くと飛んで神戸に帰ってしまいました・・・。

今年は寒さで大阪湾の「いかなご」解禁が一週間ほどおくれたようで、3月5日が解禁。

娘家族の引越しと重なり、思い通りにはいかなかったようですが、「いかなごの釘煮」を作っているいろんな所へ送って春の到来を楽しんだようです。

もっともこの神戸の春到来の風物詩「いかなごの釘煮」も有名になって、京阪神どこでも生のいかなごと釘煮のたき方をセットにして売出され、神戸だけのものでもなくなってしまいました。

柏の高島屋でも「神戸名物 いかなごの釘煮」と旗を建てて売っていました。

● 「陸の松島」関東平野を望む 栃木市 太平山 ハイク 2001. 3. 24.

3月になって 少し暖かくなりだすと共にまた恒例の「花粉症」になやませられている。

もう毎年であるが、今年は特に厳しい。柏の病院の先生が花粉症の談話で雑誌にのるくらいだからヤッパリ柏は凄いようだ。

花粉症に負けてばかりいられないし、そろそろ動き出さないと・・・・・・・・・・・・・・・・

関東平野を一望できる気楽なハイクの山として「岳人」2001年「春山」特集号に掲載された栃木市の太平山に行ってきました。topの写真は太平山 謙信平からの眺望です。

春霞の関東平野の中にぽつぽつと丘や森が浮かび「陸の松島」と呼ばれるのにも納得きれいな場所でした。

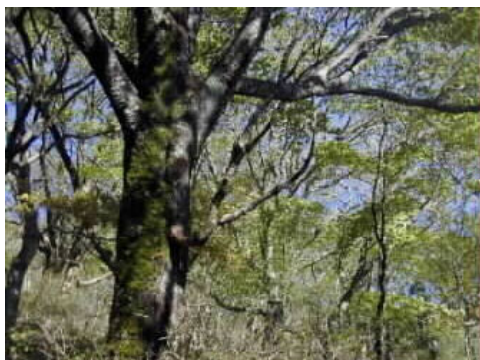
太平山は非常に低い山ですが、半日で「関東平野」や「栃木市」を眺めながらの静かにゆっくり歩ける気楽な楽しい山でした。だんごなどほうばりながらゆったりと景色を楽しめるのも good。

ここまで来ると昨年と同様 杉等林の真っ只中ですが 花粉症もふつとんでいます。まあ げんきなものです。

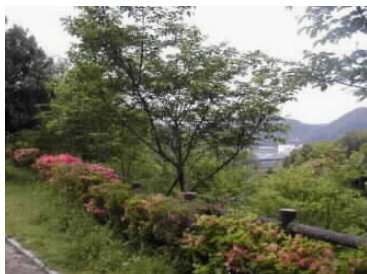
2001. 3. 24. 栃木市 太平山ハイクに出かけて Mutsu

18. 2001年 5月 from M. Nakanishi 2001. 5. 12.

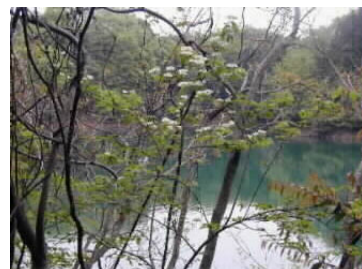
若葉萌える新緑の5月



九州 霧島 韓国岳山麓で 2001. 5. 3.



山口県 美祢湖 2001. 5. 5.



● 九州霧島 韓国岳に登ってきました



韓国岳頂上より高千穂峰を望む 右端 大瀧池

韓国岳から新燃岳・高千穂峰と続く峰々

5月のゴールデン ウィーク いかがでしたか？ 若葉が目にしみる絶好の季節到来。

私は家内と二人 新緑の九州霧島へ 念願の韓国岳へ登ってきました。

5月2日早朝に神戸をかって 霧島温泉にゆっくり浸かって翌日韓国岳に登って 美祢の家まで帰るスケジュール。天候に恵まれ、韓国岳の360度の展望と両翼を広げ天空に峰を突き刺す印象的な高千穂の峰を楽しみました。

おまけに霧島にしかなく、5月初旬に咲き出し、ほんの1週間で散ってしまうという天然記念物「ノカイドウ」の花並びに黄色い葡萄の房のような花を沢山つけたこれも霧島にしかない満開の「キリシマミズキ」に出会え、本当にラッキーでした。



久しぶりに気持ちのいいゆっくりとした山歩きが楽め、リフレッシュ 壮快な気分がかえりました。霧島といえば「ミヤマキリシマ」ぐらいしか知らなかったのですが、弥陀ヶ原や韓国岳の登山道で沢山の人がカメラを構えていました。

4月に満開となる「キリシマミズキ」が今年の寒さで遅れ、「ノカイドウ」の開花時期と重なり、霧島にしかない珍しい二つの花が同時に見える本当に「まれな年」だったので、本当に幸運。

韓国岳の麓に咲く 霧島の宝物

天然記念物「ノカイドウ」と「クリシマ ミズキ」そして「ハルリンドウ」 2001. 5. 3.



「ノカイドウ」 えびの高原で

「クリシマ ミズキ」韓国岳登山道で

「霧島の宝物」「ノカイドウ」は薄桃色の蕾と白い花が混じり、満開になると真っ白となる。

韓国岳の登山口「えびの高原」の県道脇でちょうど咲き初めの薄桃色のまじった清純な花を咲かせて、見取れるような美しさでした。

また 韓国岳の登山道の灌木の林のあちこち中で「クリシマミズキ」が黄色の房を木一杯につけ、空の青と樹木の緑を背景に秋銀杏の紅葉の風情。良く見ると上向いて咲かず、花が垂れ下がる珍しい光景です。

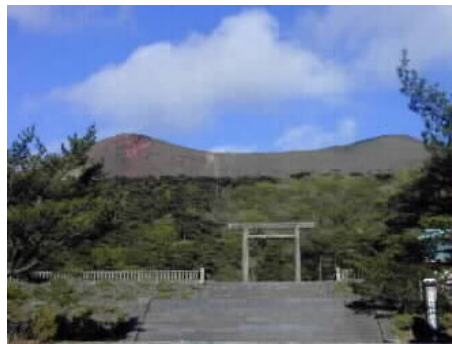
韓国岳と大浪池とにはさまれた狭い野原には「ハルリンドウ」が一輪 また一輪 青い花を咲かしていました。まだちょっと時期的には早いようですが・・・・・・。花については全く予備知識なしでしたが実にきれいでした。

● 霧島山 walk

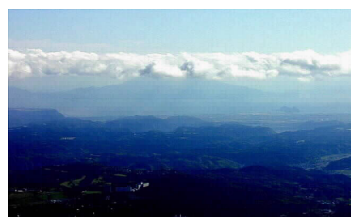
1. 高千穂峯 walk



高千穂峯 御鉢



高千穂河原登山口から 御鉢



御鉢中腹から 桜島眺望

2. 韓国岳 5.3.

念願の韓国岳。快晴の頂上の直下には大きなお釜が切れ落ち、韓国岳から高千穂峰に続く霧島連山の峰々が見える。大きな火口が見える新燃岳 お鉢を抱え 両翼を大きく広げたように見える神秘的な神々しい高千穂峰。この 20 座を超える霧島の峰々をあっけにと取られて見取れていました。



頂上から 霧島の峰々

眼下に広がる樹林の中には数々の火口池が眺められ、韓国岳のすぐ下には紺碧の水を貯めた大浪池がみえる。またはるか 南には桜島が見え、その横に小さな開聞岳が見える。また目を北に転じるとはるか遠くに阿蘇や傾 九州脊梁山脈の山々が雲の上に浮いていた。



韓国岳 頂上へ



頂上付近から 九州脊梁の山々

「今でないと歩けなくなる」とのちょっと脅迫観念にかられて、九州まででかけましたが、長年あこがれてきた山は期待にたがわず満足でした。

この若葉芽吹く樹海の中 露天風呂につかって鳥のさえずり 樹木の触合う音を聞く。

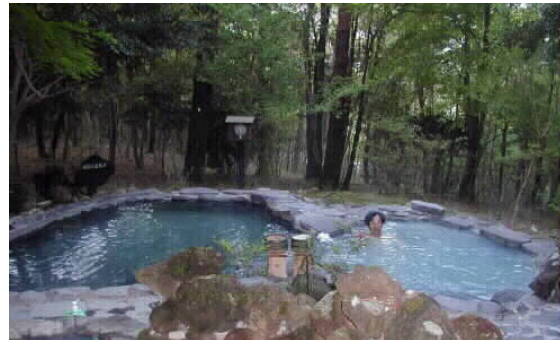
すっかり リフレッシュ。自然から活力をもらう。浮かれた気持ちではないが、すっきり気分が良い。これが自然の癒しの効果か・・・？

ふっと 色々な事が樹海のやすらぎにさそわれて 頭にうかんでくる。

もう 60 近くになると最近はいつも仕事を終えた後の事と健康の事が頭にある。

高度成長を支え、日本反映を担った団塊の世代。今檜舞台から退場をよぎなくされている。。。。。

そんな中で、現役の第一線で先頭に立って道を切り開いてきた仲間が数人 今病気と闘っている。



仕事にかけた情熱で病気を克服して欲しい。

なにも てきないけれども ガンバレ ガンバレ と ただ祈るのみ !!

ぜひ 元気な顔をみたい。

まだ 退場しないぞ・・・

明日もまた何くそで登るぞ・・・

そんなことを考えながら 霧島温泉郷 丸尾温泉にて

2001.5.2 Mutsu

● 花の4月 関東で Country Walk

菜の花は3月 南房総で

桜は 東京 隅田川の夜桜見物。

チューリップは 柏と桜のチューリップ公園でみました。

柏の緑の森もいいですが、カラフルな花の色と香り ヤッパリ この方が季節感があって好きです。

4.7. 春到来。東京では桜が満開。

春の陽気を楽しもうと前橋市の後

背上州「赤城山」へでかけました。

前橋市も桜満開のポカポカ陽気。

ところが峠を越え「赤城山」に近

づくところはまだ冬真ツ只中。

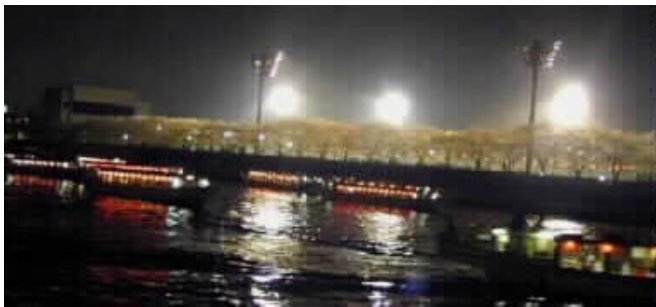
赤城山の中心の火口湖「大沼」は

氷結したまま。赤城山の最高峰黒檜山の頂上へは残雪の雪道。

晴天の中久しぶりに雪道の楽しいミニハイク



赤城山 登山道から 凍結した「大沼」 2001.4.7.



墨田堤の夜

桜川も提灯をつけた夜桜船で一杯。桜は暗くて良く見えないが、岸の人達の熱気がつたわり、夜の街の灯が川に映り good でした。もっとも 落語なんかで聞く 夜桜見物の風情はありませんが・・・・

夕方 東京上野へ出て、浅草から隅田川 墨田の堤へ。桜は満開。

川の両側の土手では夜桜を楽しむ人々でいっぱい。駒形橋のたもとから出る夜桜見物船に乗って 隅田川からの桜見物

4.15. イースターのこの日 柏 あげぼの山チューリップ公園ではチューリップが満開。

チューリップはイスラエル原産の花。

イースターのイメージの中 キリスト受難・復活の其の時にもイスラエルの山野ではチューリップ アネモネ シクラメンなどあざやかな色の花がさまざまだれていたかも知れない。



柏 あげぼの山 チューリップ公園

● 山口県長門市 湯本温泉の記事

4. 25. 朝日新聞 4. 25. 夕刊 東京版 に湯本温泉の記事がのりました。

久しぶりに見る山口 美祢の記事。

財津和夫さんが「大谷山荘」に泊まった感想がまとめられていました。

温泉街を流れる川は「音信川」と書いて「おとずれがわ」と読む。

なにか ほっとする音感です。

まもなく 蛍飛びかう季節。

山合の静かな川の流れと蛍の淡い光と本当にまるやかなすへすべのお湯。

気持の切替のできる今もってお勧めの温泉です。

山口県長門市 湯本温泉



● 接着・接合の原点 縄文の石鏃について「アスファルト」

4. 27. 青森山内丸山縄文遺跡から縄文列島へ「縄文文化の扉を開く」歴史民俗博物館企画展がで開催中。そのシンポジウムを聴講した。

先日 森本哲郎氏の講演で「山内丸山縄文遺跡」は世界4大文明にも並び 5大文明ではないかと聞いたが今「山内丸山縄文遺跡」の世界史的な位置付けが議論されていた。

世界文明の展開が農耕定住によって育まれたという定説に対し、森と海に囲まれ農耕を持たぬ森の民が高度な文明を数千年にわたり育くみ、縄文の世界観を全くかえた青森山内丸山遺跡。

あのベストセラー「神々の指紋」で知られるイギリスの作家ハンコックも世界の古代遺跡探訪のドキュメント取材で山内丸山遺跡に訪れたという。



接着・接合の原点
縄文の石鏃について「アスファルト」

また、接合の原点である「アスファルト」のついた石鏃にやっと出会えました。

縄文時代 新潟「越」のアスファルトを石の鏃につけて柄と接続されていた。いろんな本で聞いていたが、やっと現物を見ること出来ました。

溶融接合の原点は「奈良の大仏の鑄掛け」。

それに先駆ける事数千年前 縄文時代からアスファルトによる接合・接着が行なわれていた。

同じ時代「漆」もまた土器の装飾・接着につかわれ、山内丸山遺跡の土器などの彩色にはベンガラを混ぜた赤漆が用いられていた。

● 久しぶりに訪れた房総九十九里 砂鉄の浜 飯岡浜



古代の湖に広がる水田と香取台地
海上町 2001. 4. 27.



飯岡漁港とさの向こうに続く九十九里浜
飯岡 刑部岬から 2001. 4. 27.

19. 2001年 7月 from M.Nakanishi 2001. 7. 1.

6月後半は雨ばかりでうんざりしていましたが、梅雨の中休みちょっと落ち着いた気分です。最も景気は最悪 ほんとになんとかならないのか・・・・・・・・他力では何ともならぬこと判っていないながら つい愚痴になりますが・・・・・・・・。

6月26日の朝日新聞『ひと』欄〔東京版〕にガンを克服した大学時代の古い仲間S氏が紹介されているのを見つけました。まったく知らなかったのですが、ここ10数年ガンと戦いながら 今も金融のトップリーダーとして現役バリバリで第一線で働いておられる」との記事。本当に敬意を表します。

同じ仲間の会で あるメンバーが『ぼくら団塊の世代は「仕事 仕事 仕事・・・・」で来た人間。定年になってもやっぱり老けることなく「仕事 仕事 仕事・・・・」で行こう』と言ったことがありますが、トップリーダーとして働きながらのガンとの戦い本当に強い意志とアクションで支えてこられた事に感服。

先月非常に弱気なメール送りましたが、こんな仲間もいる事紹介すると共に今病気と戦っている仲間にもエールを送りたいと思っています。

2001. 7. 1. Mutsu

● 梅雨の合間に菖蒲・紫陽花・バラの花を見る

6. 24. 久しぶりの柏での雨上がりの日曜日 思い立って柏の街中で花見。今年「菖蒲」を見に行けず 「紫陽花」も街角でみかけるが・・また、バラがきれいな時期 前橋のバラ園のニュースを聞いたが・・・・・・・・どれもまだ中途半端。

『しっとりとした菖蒲・紫陽花もみたいし、また ぱっと輝く明るいバラも見たい』と 6. 24. の日曜日柏のあけぼの山公園・柏の葉公園へ初夏の花見に出かけました。



柏の葉公園で 2001. 6. 24.



柏あけぼの山菅園・松葉町で 2001. 6. 24.

しっとりした紫の菖蒲一輪・山裾に咲く紫陽花 落ち着いたいい気分。

もともと梅雨時に咲く同じ紫・青系の落ち着いた清楚な大輪の花なのに 菖蒲が「神秘・やさしさ・忍耐」 紫陽花が「移り気・冷酷」と紫陽花にシビアー。

紫陽花は日本原産の花で万葉の昔からの日本を代表する花なのに花にたくされるイメージは余りよくなし。菖蒲との差は大きい。

でも 梅雨あがりに家の軒下 山裾でさく紫陽花は一種の清涼剤。好きです。

バラはバラで明るくて良し。昔は深い

い赤の大輪の花がすきでしたが、美祢のKさんに教えてもらった小ぶりの淡い色のバラが今は落ち着いて好き。

柏の街・公園を一日花をみながらゆっくり歩きました。

ゆっくり 落ち着いて歩いてみるといろんなものがこんなところに 知らないことが沢山みえました。

夕方公園の茶席で庭をみながらので抹茶と和菓子。

一日落ち着いたこんな日曜日もたまにはGOODです。

● 接合のルーツ 「漆」・「アスファルト」を見る -「発掘された日本列島 2001」展-
-日本の固有の「木の文化の加工技術」として-



6. 16. 本年も 「発掘された日本列島 2001」展が両国の東京博物館で開催中。今年が目玉は出雲大社の古代中空にそびえる神殿心柱の発掘。最近の古代遺跡発掘から、4世紀卑弥呼の時代 すでに大和に巨大勢力があり、「九州・出雲・東海・越」など日本各地の土器などからこれらの地方が大和の勢力下にあったことが判ってきて、また、従来考えられていた縄文時代には考えられない巨木を加工した日本古来の「木の文化」の存在など古代史が書き換えられようとしている。

出雲大社の発掘から、古代中空にそびえる巨大神殿〔東大寺大仏殿よりも大きな高さ46mを越える建物〕伝承を裏付ける巨大心柱が発掘された。

春 出雲太神社の本殿の前にある発掘中の「宇豆柱」を見ましたが、大きな柱が三本束ねられ、すごいと思いました。



発掘中の宇豆柱 古代出雲大社 想像図 NHK TV より

三内丸山遺跡をはじめとして、古代遺跡で次々に見つかる巨大木加工技術。

これらから、日本には世界3大文明に匹敵する「木の文明・文化」があったとする説を唱える人が多くなってきているが、大空高くそびえる出雲神殿の存在はますます日本固有の「木の文化」の实在に根拠を与えるものと思う。〔最近の調査では これら発掘された柱は鎌倉期の建替え用であることが判ってきたという 2003.1.15〕

縄文の「漆」と「アスファルト」

ともすれば「日本の文化は渡来人によってもたらされた」とする日本古代史が今書き換えられようとしています。

そんな中で 古代の接合と深くかかわっていた、縄文の「漆」と「アスファルト」が発掘展示されていた。北海道垣の島遺跡から縄文早期の最古の「赤漆製品」が発掘され、従来大陸から伝わったとされていた「漆」が日本固有の技術である可能性が強まった。

また、青森八戸の縄文遺跡からは「赤漆」により、接合補修された痕跡のある遮光器土土偶の首が発掘展示されており、古代の有力な接合・補修技術であることが判る。

きっちりと補修接合として漆が使われているのを見るのは初めてでした。

また、新潟の青田縄文遺跡で出土した「天然アスファルトの塊」が展示され、古代縄文のアスファルトの塊も見るのが初めて。

もう 数年にわたって 日本の接合・接着技術の原点として 「アスファルト」「漆」で接着・接合された物を見たくて色々博物館へ通いましたが 「アスファルト」につづいて「漆」でもが実際に使われた現物をやっと思えることが出来ました。

日本の古代の歴史が書き換えられようとしています、それと伴って 従来はあまり注目

れていなかった「日本の木の文化」が世界文明の視点からも重要視されています。

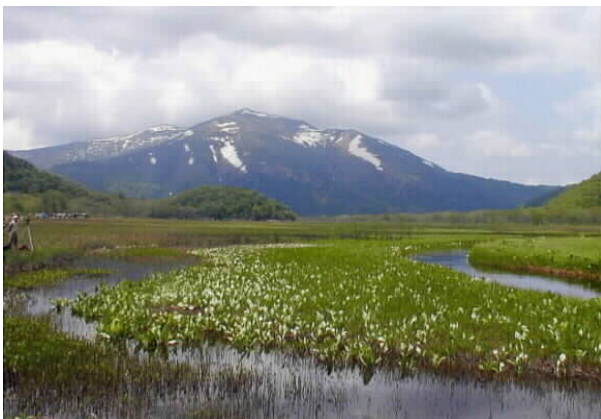
日本固有の文化・技術と稲・鉄を中心とした大陸からの技術が融合し、日本が形作られた。

今、「古代鉄の流れ」からも不思議な事多く、ちょっとづつ ベールが剥がされていくのが面白い。



赤漆での修復痕跡のある土偶

● 初夏 水芭蕉の尾瀬沼・尾瀬ヶ原へ



初夏 水芭蕉の尾瀬ヶ原 2001.6.9.

6.9.夜 霧雨の中 家内と二人で初夏の尾瀬・水芭蕉を目当てにでかけました。何拾年振りか 満員の夜行電車にのって 電車の走る音を聞きながら床に寝て行きました。

まったくの学生時代に戻った華やいだ気分になっていました。

夜明けの会津側沼山峠を出発して 水芭蕉や初夏の花咲く尾瀬沼・尾瀬ヶ原へ。尾瀬の花の図鑑片手に初夏の尾瀬を楽しみました。また 尾瀬ヶ原からヨッピー川沿いに静かな森の中段吉新道・燧裏林道を会津御池口へ下ったのですが、静かな燧ヶ岳裏の森と田

代をゆっくり楽しみました。静かな森越しに見える雪のついた平ヶ岳・越後駒も印象的でした。

いつも霧でどれかかが欠けているのですが、梅雨時にもかかわらず、絶好の日和にめぐまれ、水芭蕉や種々の高山植物とともに燧ヶ岳・至仏山そして燧ヶ岳裏林道の田代群 みんな見ることに出来ました。

家内にとっては2年越しの初めての尾瀬。満足したようです。もっとも会津高原に下りた時には足に来ていたようですが.....



水芭蕉の尾瀬探勝 2001. 6. 9.

20. 2001年 8月 from M. Nakanishi 2001. 8. 3.

『ひまわりの夏』



暑中お見舞い申し上げます

毎日暑い暑い夏です。お元気でお過ごしのことと思います。「ひまわり」と「朝顔」が庭先に花をつけ 夏本番。今年の夏は孫が日に日に成長するのを楽しんでいます。

厳しい暑さ どうか健康にご留意ください。

2001. 8. 3. 神戸にて Mutsu



大門恵奈です 1歳5ヶ月です



朝顔 日の丸(左) と 平安の泉(右)

● ショックアブソーバ付の杖

何とか梅雨の湿気を乗り切ったと思ったら、暑い暑い夏。

人ばかりでなく会社の機械もバテ気味。中々落ち着きません。

何時になるか判らなかった柏の街の常磐新幹線の工事がはじまったようで、ルートを示す標識が会社へかようあぜ道やゴルフ場横の田圃にも建てられました。また、ゴルフ場の横の遺跡の調査が終わったようでブルドーザーが入り、本格的な工事の開始です。

神戸須磨の自宅の横の布施畑では今中国道と海岸の国道を結ぶトンネル工事が真っ最中。大きな機械が入っています。

どっぴり町の中につかると何にも変化がみえませんが、街もちょっとづつ変わっています。

梅雨明けを待ちかねて 那須岳の縦走をしてきました。久しぶりに岩尾根を歩き、温泉に浸って気分爽快。リフレッシュできました。

もっとも 日頃の不摂生たたって バテました。特に下りは足にピンピン響いて、もう歩くのがいやと言うとこまで行きました。

もう やっぱり 今はやりのショクアブソーバ付の杖の世話になろうと思っています。

はやりではあっても「世話にはならんぞ・・・」と思っていたのですが・・・

やっぱり山は出掛けたいし・・・といったところです。

● 大阪のエスカレータ

本当に暑い暑い夏が続いています。

大阪の方が朝晩の暑さは東京より格別と感じています。東京と大阪を比較するのは悪い癖。でも 今年はもう暑くて・・・

大阪にテーマパーク「ユニバーサル スタジオ」が開設されて約5ヶ月。沢山の人が大阪を訪れています。

大阪や難波、新大阪駅などのターミナルのエスカレータが最近非常にばらばらで通りにくくなっているのは関東の人が沢山大阪を訪れているのが原因と言う。

そういわれると確かに 新大阪駅での乗換えエスカレータでは最近片側明けの整列が乱れているように思いませんか？。

新神戸駅ではそんなことないのに・・・

大阪では万国博覧会の時に「右側によって立ち左側を空ける」スタイルができ、並ぶのが苦手な大阪人にはあるが、エスカレータではこのルールが良く守られてきた。

一方、東京では 大阪と逆に「左側に寄って右側を空ける」事が定着している。

まあ、どちらでもいいのであるが、ルールとしてあいまいになって居ることは困ったものだ。

自分流というのも良いが、お互いに人の流れにあわす鷹揚さも必要なのではないだろうか・・・

明石の花火事故も人の流れに逆らって歩道橋の上で立ち止まる動きが事故誘発の一因とも言われている。

最近 無手勝流の個人主義というか 無理押しが効く社会になっているのでは・・・?と考えるのは飛躍のしすぎでしょうか

そういえば 子供の頃「右側通行」「人は右 車は左」の交通標語がいつも教えられたが、最近聞いたことないなあ・・・

道路が整備され、歩道付の道が増え 人と車が分離され、対面交通の場が少なくなったためだろうか・・・

でも、「車と人」「人と人」の対面する場は増えている。

その時にどうするのか・・・これも危機管理。書かれたマニュアルがあるだけではどうにもならぬと思うのですが・・・

日本人が捨ててきたものも見直さねば 一部の人のみ good な社会へ突き進んでゆくのでは新大阪駅のエスカレータの手すりに寄りかかりながら ふっとそんな気持ちがよぎりました。

暑い暑いと言っているともうろくな事考えん。でも 何か いい話題ないでしょうか
まあ、最近 は 孫の片言の言葉になっていない言葉を効くのが楽しみになっています。

21. 2001年 9月 from M.Nakanishi 2001.9.9.

久しぶりに山口へ帰って



山口県西長門 土井が浜からの夕日西長門



新設された角島大橋 2001.9.1.

めっきり涼しくなり秋の風がふいています。

早く更新しようと思いつつ今日まで延びてしまいました。やっと9月のメールお送りします。写真は9.1. 山口県西長門海岸 土井が浜の夕日と直ぐ隣 昨年橋がかかった角島の夕暮れです。お盆に帰る予定だったのですが帰れず、9月1日から3日まで山口県美祢の家の草抜きを兼ねて山口に行ってきました。

一俣温泉のあの独特のつるつるのお湯につかり、その後夕日を見て、長門で魚を食べて美祢へ。

また、秋吉台北山麓は梨の産地。いたるところに「秋芳梨」の旗がはためいています。「秋芳梨」を楽しみにしている人達に今年も送れました。

私の一番好きな山口のコースなのですが、温泉に浸かって山を見ていると本当にほっとします。



角島灯台の夕暮れと灯台下海岸に咲くハマユウの群落 2001.9.1.

関東にいと時々山口のニュースを見ることあり、今度も家内がニュースステーションで「秋芳の白糸の滝」の中継があったと言うので久しぶりそこへも行ってきましたが、新しい発見。(勝手な推論なのかも知れません)

ちょうど秋吉カルスト台地の北側。別府の弁天池から長門・三隅へ行くの山の中へ少し入ったところ。以前出かけた時 この山中からなべ鶴が飛び出してビックリしたところ

地元山口の人余り知らない所ですが、前とはうって変わってきれいな公園になっており、そこにきれいな滝がかかっています。

TVに出た滝と思ってみるからかも知れませんが、一層きれいでした。

その上流さらに遡ると桂木山。桂の木は古代製鉄に関係した「金屋子神」が千種を飛び立ち止まった木。やまの地形的にも「たたら」製鉄に適した地形であり、花尾山南面にある河原上たたら遺跡もすぐ近く。この秋吉カルスト台地の北山麓は古くからの鉱山・たたら製鉄が行なわれた土地であり この桂木山一帯は修験道の山という。きっと「たたら」と関係のある谷間と思う。

我々、どこで暮らしていても、本当は知らないだけでごく身近に製鉄遺跡があり、鉄とは切っても切れない関係が続いてきたものと今更ながら思う。



秋芳の白糸の滝

久しぶりの山口 まあ 第二の故郷。 美祢盆地の山の中 温泉以外 取り立ててなにもない山の中ですが、緑の山と空をながめているとほっとします。

本当に久しぶりのリフレッシュでした。

2001. 9. 2. 山口県美祢の自宅にて 満月の空を眺めながら

● home page「和鉄の道 Iron Road」をふりかえって

仕事は大変。

長い休みだったのですが、海外には行けずでしたが、けっこう好きなことをゆっくり出来た夏でした。この夏休みを利用して home page「Iron Road 和鉄の道」を整理したのですが、けっこう大部な本になりました。

価値があるかどうか別にして、コツコツ歩いた約10年。けっこう面白い予期せぬ展開のストーリーになりました。

当時「たたら」でホームページ検索しても数件 「鉄の道」「和鉄の道」などまったく無し。

過去に見向きもせず、鉄が先端産業としてつっ走り、円熟期にさしかかった時代。

それが今 学協会には「和鉄」の分科会があり、各地に「たたら館」がオープン。「たたら」で検索すると数千を超えるホームページが検索される。

鉄の世界もいよいよ 歴史の中に埋もれるのか または、先端産業として再生されるのか その瀬戸際。新しい展開が鉄の世界で起こる事を期待しているのですが・・・・・・

2001. 9. 9. 柏にて M. Nakanishi

くろがね 鉄山
東北 安達太良山の紅葉をみました



安達太良山 くろがね小屋周辺の紅葉 2001. 10. 13.

ご無沙汰しています。おかわりありませんか

背景の紅葉は10月13日 気分転換に出掛けた福島県安達太良山の紅葉です。

山の地図を見ていて 安達太良の山の稜線に「鉄山」の名を見つけ、この鉄山から切れ落ちた谷の一角に「くろがね小屋」の名があり、是非行ってみたいと思った次第。

あいにくの霧雨で山の展望は全くダメでしたが、山腹の紅葉は紅葉と緑のまだら模様が素晴らしく、久しぶりに「これぞ東北 山の紅葉」の感。満足して帰りました。

また、安達太良山の頂上付近は霧と強い風が吹き荒れていましたが、岩肌は赤茶色、鉄分の混じったベンガラ色。多分間違いなく「鉄の山」と思います。

もっとも 鉄山から切れ落ちる湯川溪谷を下った先の塩沢温泉は無色の鉄分のないお湯でしたが……。

安達太良山は「智恵子抄」でも有名になった山。

東北新幹線にのると那須連邦の山々を見、郡山を過ぎて磐梯の山を探しつつ、次に見えてくるのが、安達太良連峰・吾妻連峰。

安達太良山は別名乳首山。ゆったりとした稜線と森に包まれた優美な姿を見せ、その上にぽつりと乳首のように岩山が乗っている。

この山の奥北側の吾妻連峰が火山群らしい荒々しい山肌をみせているのとは対照的。

でも 山の中に入ると巨大な爆裂火口と切り立った岩肌を見せ、谷筋は深く切れ落ち、荒々しい山でもありました。

本当に暗い世相 いい方向へ早く転じないものでしょうか

楽しみにしていた青森三内丸山遺跡でのお月見に出張で行けず、でも変わりに安達太良で素晴らしい紅葉がみれたのでよし。

また、9月の末 宮城・岩手の国境にそびえる初秋の栗駒山にのぼり、岩手県側に降りて、古代蝦夷の雄アルタイがそりのある蕨手刀で戦った「北上・一関」へ。

直刀からそりのある日本刀へ 日本刀のルーツの一つ 一関 。平泉金色堂にもよってきました。

一関・平泉は30数年ぶり。随分変わりましたが、昔家内と二人で一関で買った黒い「雪焼けこけし」だけは今もそのままでした。

世の中は実にいやな世相。本当にどうなるのでしょうか

2001.10.21. 柏にて Mutsu

● テロ戦争と「ルーツ」の理解 2001.10.21.

9月23日 あのニューヨーク 貿易センタービルの飛行機テロが起こり、それから「テロ」戦争炭素菌テロへ。

また日本では狂牛病と世の中 なんかおかしい。仕事の方も何かむなしい感じがして……………。あの若い時のような気持ちを取り戻したいものです。

「紛争と争いの20世紀」を脱し 「新しい21世紀」の幕開けを期待していたのに厳しい現実です。ニューヨークで亡くなった方々は本当に無念だったろうとテロに対する言い知れぬ怒りとともにまた、「新しい争い」のスタートか と思うとやりきれなくなります。

現在のIT技術を中心とした先端産業を象徴するばかりでなく、鉄鋼技術の一つのモニュメントでもあったTWIN TOWERが高層ビル解体のスローモーションビデオを見るかのようにあんなにもろく、全層下に崩れ落ちるとは思いもよらぬ事でした。当時 最先端に行く日本鉄鋼業の優秀性を示す高張力鋼材が使われたビルでした。

なぜ あんなに一瞬に崩れたのか 原因はよく判りませんが、「欠陥ビル?」とも思いましたが、そうではないらしい。高層ビルの居住スペースを広く取るため、中心部に全く柱をなくした構造で、周りの壁・柱が各階を支えている構造とか……

したがって 中央部にはその階の重みしか耐えられない構造で、上の階の崩れた重みが次々とその階の中央部に加わり、ビルが倒壊することなく床が次々抜けてゆく形で下へ崩れ落ちたとか……

いずれにしても 中心に柱のない構造の思いもよらぬ構造のもろさを見たような気がします。

古来から 日本には『木の文化の象徴』として受け継がれてきた「言葉」「技術」として「御柱」「心柱」がある。最近 三内丸山縄文遺跡の巨大柱や古代出雲大社の巨大な心柱が出てきた話題などとダブらせながら 今もって「なぜ……?」と思っています。

また、今東京上野の科学博物館でNHKとタイアップした「日本人 はるかな旅 日本人のルーツ」展が開催され、350万年前アフリカで誕生し、二足歩行をはじめた人類の最初の「足跡」が展示公開されていました。「ルーツのルーツ」である。

これを見ていると人種・宗教・貧困・飢餓 みな地球人として乗り越えねばと思う。

昔々 争いの無かった時代があったという。

たゆまない「智恵と努力と行動と」で幾多の想像を越える苦難を乗り越えてきた人類の歴史を伝える遺伝子DNA。21世紀を生きる地球人として是非とも「共通の土俵」と「武力によらぬ解決の手段」を手に入れたいものだ。

「日本人はるかな旅 日本人のルーツ」展を見て 2001.10.21. Mutsu

23. 2001年 12月 from M. Nakanishi 2001. 12. 1.

● リュックサック問題

12月 急に寒くなって もう 今年もおしまいか・・・と思うこの頃。やり残した事沢山あり。
21世紀のバラ色の夢を描いた年が過ぎようとしています。
あんまりいい事がない苦しい1年でしたね。
来年こそは・・・と言いたいのですが、世代交代はいかんともしがたく。

ニューヨークテロに単を発した「アフガンの空爆」も終結しようとしています、あんだけ大量に爆弾
投下されると国土はメチャメチャ 復興といっても厳しい現実。また、ゲリラ戦の継続 国内の勢力争
いと取り巻く各国のエゴの絡み合い。
現実に関自分がそこにおかれれば・・・と考えると頭を抱え込んでしまいます。

国内不況も日増しに厳しさをましています。金融不況にテロ・炭素菌・狂牛病の追い討ち。人の気持ち
も何か 歯止めの効かない流れムード。何か世の中狂っとる・・・
昔 ひとつとのように見ていた現実が、今自分たちの身の上に降りかかって来て、あまりの深刻さに自
失呆然というのが現実。神頼み・人頼みしてもまったくどうにもならず。

「武器はなし マニュアルなし 先導者無し。一つ間違ったアクションとれば命取り」
それを悔いても仕方なし。

「どうにかなるさ・・・」と試してみても「どうにもならない」現実。
ほんと 若い人がうらやましくなります。

アメリカ人などはこの厳しい競争の現実を「よくうまく乗り切ってゆく」と感心していますが、骨身に
堪えています。

「解法の正解がない。自分の判断のよしあしが結果を左右する」こんな問題を「リュックサック」問題
と言うらしい。まさにそんな感じです。

早く 誰か解法見つけ出して教えて欲しいものです。

でも「立ち止まれない現実。明日に期待をかけて自分の足で 前向いて・・・」と試していますが、
だんだん 自分の動ける範囲が狭くなって 厳しいですね・・・

もっとも 先日 若いエンジニアが茨城に来たついでに柏に寄ってくれたのですが、わたしらよりもっ
と厳しい現実の中 「自分たちでやらねば・・・明日 ユーザーがどうしてくれるか？ 新製品に賭け
て・・・」と一生懸命話してくれる姿にほんとうらやましくもあり、彼の成長・頼もしさに感動する
とともに「是非 成功してほしいなあ・・・」と。

なにか歳と共に忘れ 薄れてゆくものを思い起こさせてくれました。

2001. 12. 1. 柏にて Mutsu

● 晩秋の奥白根山

学生時代 長野から京都に出てきたS氏とK氏がいつも語っていた「信州から上州経て尾瀬・日光へ抜
ける紅葉の街道。そこにそびえる草津白根と日光白根山。沼田街道と紅葉の丸沼菅沼・金精峠」
ふっと思い出して、10月27日 朝飛び出して 紅葉の中 沼田・丸沼から奥白根山(日光白根山)へ登
って日光側の湯元温泉まで歩きました。
楽勝と思っていましたが、意外と厳しい山歩きでした。

京都の仲間の話のついでに 柏の高島屋で「京都うまいもの市」があり、やっぱり足が向いて、色々買ってかえりました。

ビックリしたのですが、京菓子や京漬物の古い老舗の中にコーヒー豆の河原町「INODA」が店を出しており、しかも 豆と同時に「イノダのインスタント コーヒー」。

神戸でいう“UCC”上島珈琲の京都版の老舗なんです、ほんと和風の老舗の中に珈琲店が違和感なく混じっている事や新しいものに向っていること『京都らしい』と思いました。

日が落ちるのが日増しに早くなって 暗くなってから 一人帰るのが本当に嫌ですね。

つつい 色んなものが恋しくて・・・・・・・・。

そんな中、いろんな人が訪ねてくれて。もう 何年も会っていない人までも消息をたずて・・・。

美祢の黒田さんのチビちゃんたちも美祢の名産と新鮮な「はまち」を沢山だかえて・・・・・・・・。



京都 INODA の珈琲



奥白根山 (日光白根山)

師走のきざわしさと共に 1年・1年 否応無しに今後の生活をかえねばならぬ歳になりました。

さて 今後はどうするか・・・・・・・・その前にやっておかねばならぬこと山積み

やっぱり 「自分の足で前向いて 明日にかけて・・・」です。

つつい 歳とともにぐちっぽくなっています。

2001. 12. 1. 柏にて ぼんやり天井みながら Mutsu